

大動物臨床研究会第8回東京シンポジウム

テーマ： 牛の一生における管理 ～乳房炎を考える（現象と臨床）～

開催日： 平成30年3月3日（土）、10:00～17:40

会場： 東京大学農学部1号館8番教室（〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1）

大会長： 望月 学（東京大学大学院農業生命科学研究科）

主催： 大動物臨床研究会（会長：高橋 俊彦）

参加費： 正会員1,000円、非会員4,000円、学生1,000円（事前登録不要）

プログラム： 総合司会：菊 佳男（農研機構 動物衛生研究部門）

○教育講演1（10:10-11:30）

- 乳牛の健全性・生涯生産性両立のための泌乳持続性改良と乾乳期短縮

田鎖 直澄（農研機構 北海道農業研究センター）

○教育講演2（11:40-12:40）

- 乳房炎の発生に関わるメカニズムとその対策

大塚 浩通（酪農学園大学）

○ランチョンセミナー（12:45-13:45）：ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社企画

- メロキシカム製剤を中心とした幅広いNSAIDsの使用事例

柿崎 竜二郎（ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン株式会社）

○教育講演3（13:50-14:50）

- 牛乳房炎とどう対峙するか？－乳房炎原因菌の薬剤耐性状況と課題－

河合 一洋（麻布大学）

○協賛企業からの話題提供（14:55-15:45）：

○研究報告1（15:50-16:20）

- 乳房炎時の細菌培養検査により菌の発育が認められなかった牛への対応

佐藤 太郎（TARO ファームケアクリニック）

○研究報告2（16:25-16:55）

- 慢性・潜在性乳房炎牛に対する乳汁移植療法の検討

金子 宗平（広島県農業共済組合）

○総合討論（17:00-17:40）

○意見交換会（18:00-20:00）

- Bar ABREUVOIR（東大農学部向ヶ岡ファカルティハウス2階）、参加費5,000円

<問い合わせ>

菊 佳男（大動物臨床研究会事務局、農研機構 動物衛生研究部門）

〒062-0045 北海道札幌市豊平区羊ヶ丘4、TEL: 011-851-2175、E-mail: yokiku@affrc.go.jp

<協賛企業>

（株）インターベット、共立製薬（株）、DSファーマアニマルヘルス（株）、日本全薬工業（株）、日本動物特殊診断（株）、バイエル薬品（株）、ベーリンガーインゲルハイムアニマルヘルスジャパン（株）、ミヤリサン製薬（株）